

箕面都市開発株式会社

平成 2 3 年度

通期業績予想

〔上半期決算反映版〕

平成23年12月

箕面都市開発株式会社

上半期決算に基づく通期業績予想の概要

1 調停条項と比較すると

- 期末資金残高について、大幅な経費の削減効果により、調停条項の想定推移を上回る見込みです。
- 純資産額についても、平成23年度から調停条項の想定推移を上回り、予定通り平成25年度には債務超過を解消する見込みです。
- 本業の利益を示す営業利益など、いずれの利益ベース(営業利益・経常利益・当期純利益)においても調停条項を上回る見込みです。

2 平成23年度予算と通期業績予想を比較すると

- 上半期が好調だったため、通期業績予想では、予算編成時の見込みに比べ、売上高は僅かに未達になるものの、営業利益、経常利益、当期純利益とも、予算を大幅に上回る見込みであり、経営は順調です。

3 今後の展望

- いずれの利益ベースにおいても、調停条項や平成23年度予算に比べ大幅に上回る順調な経営となっていますが、これは人件費や顧問料の削減など経費削減によるものです。
- 今後は、更なる収益拡大のために、新規事業の獲得など売上高を増加させるための事業展開に力を入れていきます。

特定調停に基づく

調停条項との比較

1. 経営内容を判断するポイント

- 貸借対照表や損益計算書で経営判断することも必要ですが、新たな投資や臨時的な支出に大きく左右されます。

調停条項の着実な履行を判断するポイント

期末にどれだけの資金残高があるのか

純資産額が増加しているのか(3年で赤字が解消するのか)

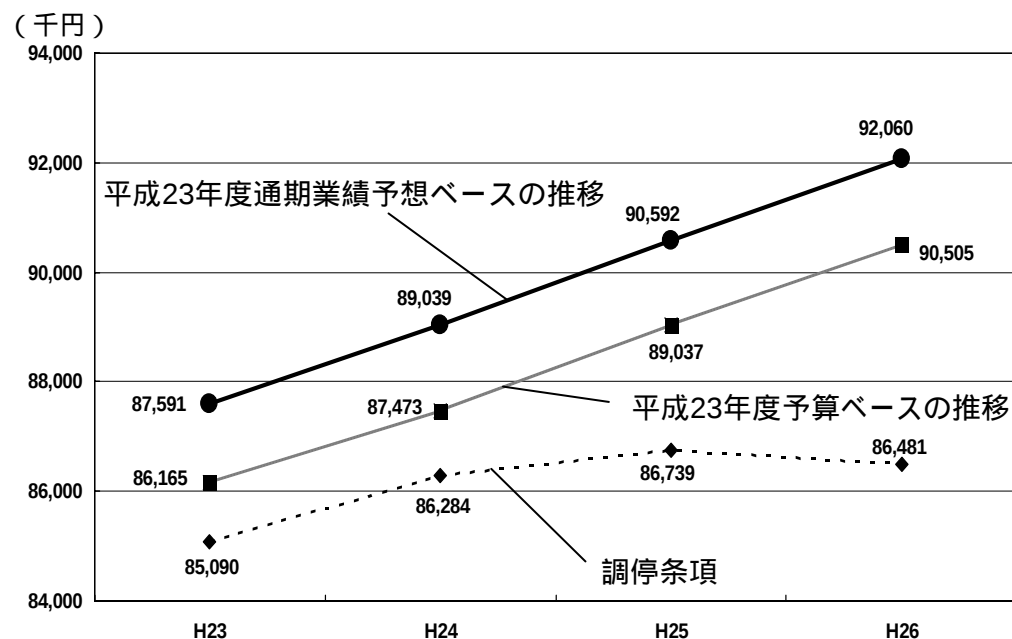
.....➡ 資金計画で判断することが適切

2. 資金計画の見込み

(1) 期末資金残高の推移

(単位:千円)

	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
調停条項	85,090	86,284	86,739	86,481
平成23年度予算ベース	86,165	87,473	89,037	90,505
平成23年度通期業績予想ベース	87,591	89,039	90,592	92,060

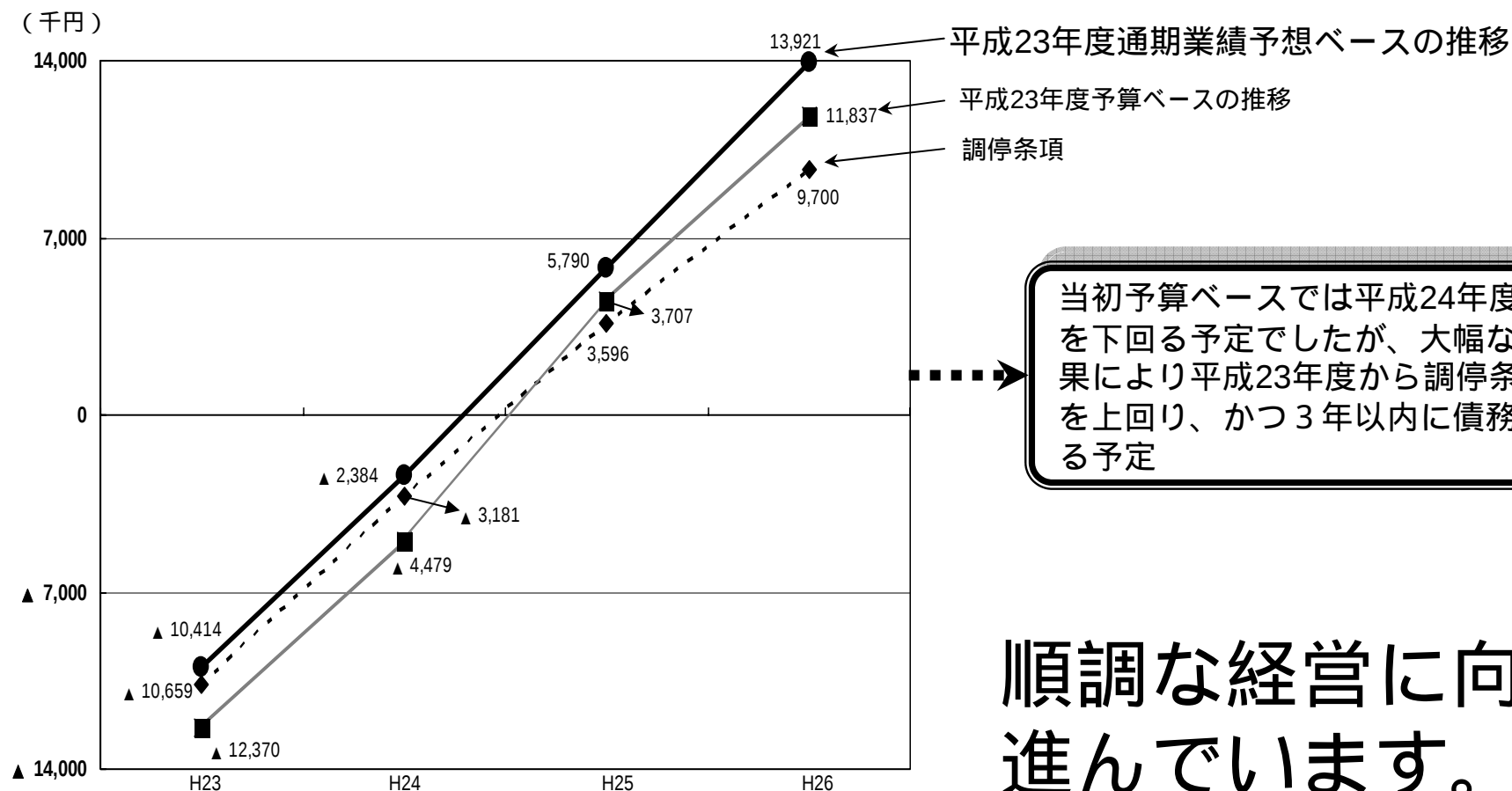


.....➡ 大幅な経費の削減効果により、調停条項の想定推移を上回る予定

(2) 純資産額の推移

(単位:千円)

	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
調停条項	▲ 10,659	▲ 3,181	3,596	9,700
平成23年度予算ベース	▲ 12,370	▲ 4,479	3,707	11,837
平成23年度通期業績予想ベース	▲ 10,414	▲ 2,384	5,790	13,921



〔参考1〕利益計画・資金計画の比較

(単位: 千円・%)

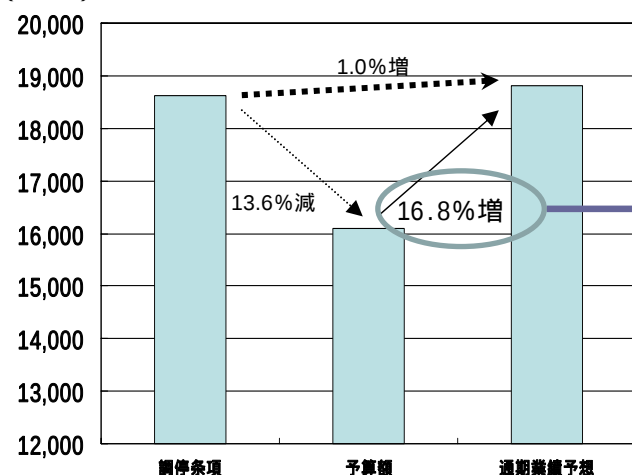
	平成23年度			調停条項との比較			
	調停条項	予算額	通期業績予想	予算額		通期業績予想	
				増減額	増減率	増減額	増減率
売上高	108,000	110,000	109,053	2,000	1.9	1,053	1.0
営業利益	18,627	16,100	18,810	▲2,527	▲13.6	183	1.0
経常利益	16,611	14,154	18,328	▲2,457	▲14.8	1,717	10.3
当期純利益	8,596	7,408	9,364	▲1,188	▲13.8	768	8.9
期末資金残高	85,090	86,165	87,591	1,075	1.3	2,501	2.9
純資産額	▲10,659	▲12,370	▲10,414	▲1,711	▲16.1	245	2.3

売上高が予算額に対し微減している事由は、主にサンプルザ2階所有床の賃貸収入の減によるものです。

通期業績予想では、すべての項目において、調停条項を上回る予定となっています。

〔参考2〕平成23年度営業利益（本業利益）の比較

(千円)



予算額を大幅に上回り、結果として、調停条項で示された数値も上回りました。

要因

当初予算の段階では、文化・交流センター3階スペースの改修などにより調停条項の見込み額を下回りましたが、人件費等の見直し等の経費削減により、大幅に上回る予定です。

平成 2 3 年度

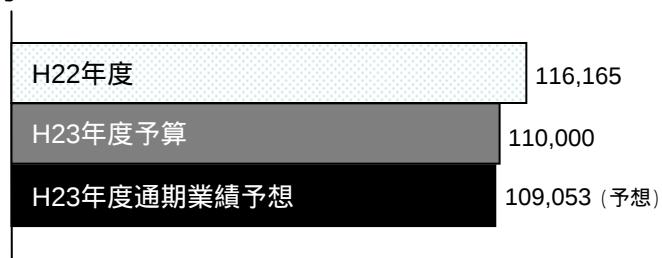
通期業績予想

1. 通期業績予想

上半期が好調だったことにより、通期業績予想では、売上高は僅かに未達になるものの、営業利益、経常利益、当期純利益とも、予算を大幅に上回る見込みです。

■ 売上高

(単位: 千円)

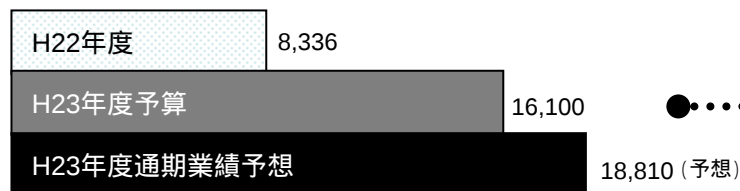


予算と通期業績予想の比較・主な要因

予算比0.9%減

- ・ サンプラザ2階所有床賃貸解除による収入減

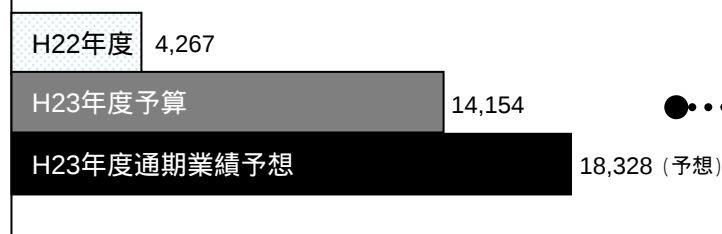
■ 営業利益



予算比16.8%増

- ・ 給与制度の見直しによる人件費の減少
- ・ 法務、経理の顧問先変更に伴う支払手数料の減少

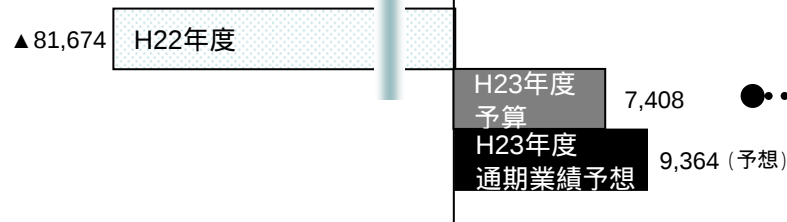
■ 経常利益



予算比29.5%増

- ・ 営業利益の増収による

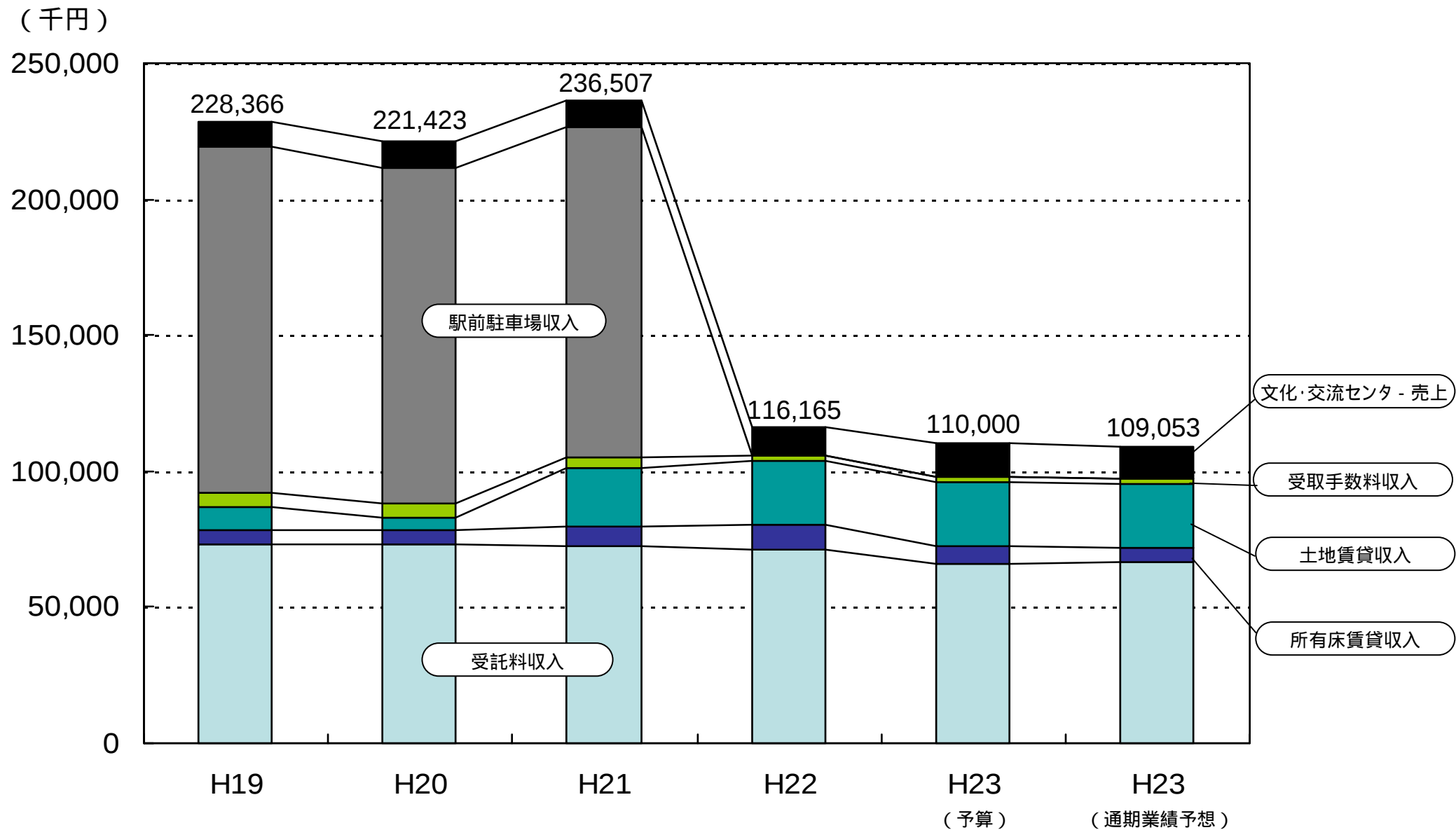
■ 当期純利益



予算比26.4%増

- ・ 経常利益の増収による

2 . 事業別売上高の推移



〔参考１〕決算実績と予算・通期業績予想の対比

(単位:千円・%)

	平成22年度 (決算)		平成23年度 (予算)		平成23年度 (通期業績予想)		増減率	
	金額	売上高 利益率	金額	売上高 利益率	金額	売上高 利益率	決算・予算 対比	決算・業績 予想対比
売上高	116,165	—	110,000	—	109,053	—	▲5.3	▲6.1
受託料収入	71,398	—	66,107	—	66,617	—	▲7.4	▲6.7
所有床賃貸収入	8,764	—	6,504	—	5,284	—	▲25.8	▲39.7
土地賃貸収入	23,640	—	23,640	—	23,640	—	0	0
受取手数料収入	2,032	—	1,892	—	1,997	—	▲6.9	▲1.7
文化・交流センター売上	10,331	—	11,857	—	11,515	—	14.8	11.5
営業利益	8,336	7.2	16,100	14.6	18,810	17.2	93.1	125.6
経常利益	4,267	3.7	14,154	12.9	18,328	16.8	231.7	329.5
当期純利益	▲81,674	▲70.3	7,408	6.7	9,364	8.6	皆増	皆増

〔参考2〕貸借対照表

(単位:千円)

	平成22年度		平成23年度 (平成23年9月30日現在)		増減額
	金額	構成比(%)	金額	構成比(%)	
資産合計	474,768	100.0	483,712	100.0	8,944
流動資産	78,861	16.6	86,990	18.0	8,129
固定資産	395,907	83.4	396,722	82.0	815
有形固定資産	377,334	95.3	378,149	95.3	815
無形固定資産	296	0.1	296	0.1	0
投資その他の資産	18,277	4.6	18,277	4.6	0
負債合計	488,938	103.0	487,837	101.0	▲ 1,101
流動負債	8,072	1.7	7,544	1.5	▲ 528
固定負債	480,866	98.3	480,293	98.5	▲ 573
純資産	▲ 14,170	▲ 3.0	▲ 4,125	▲ 1.0	10,045

純資産(繰延税金資産除く)	▲ 19,778	——	▲ 10,414	——	9,364
---------------	----------	----	----------	----	-------

繰延税金資産とは・・・将来の会計期間に帰属すべき税金費用(損金)を当期に前払いしたと考え、これを繰延処理することにより生じる資産